

# 政策シート

(政策名) 安全・安心で利用しやすい公共建築物の提供  
(予算費目名) 公共建築費

(総合計画体系)

「分野」 地方自治・都市経営

30年後の姿 協働による持続可能な都市経営を推進し、全国をリードする自立した基礎自治体になっている。

10年後の目標

- ・ 協働に関わる多様な主体が連携し、協働による質の高い市民サービスが提供されている。
- ・ 公共インフラの整備・維持・管理に民間活力の導入が進んでいる。

◆基本政策 将来像を実現する財政運営、財産管理、財源確保の推進

◇政策の概要

公共建築物の長寿命化やユニバーサルデザイン化を進め、市民が安全・安心して利用しやすい施設整備を行うとともに、適正な建物保全を推進する。また施設用途や目的に応じた適正な整備レベルの確保を図り、市民に親しまれる公共建築物を提供する。

◇政策のコスト(千円)

	H27	H28	H29	H30
予算	2,020,910	1,666,422	1,629,663	1,559,566
決算	1,690,177	1,641,737	1,453,653	
人件費(A)	239,200	242,800	249,800	237,000
報酬(B)				
年間経費(予算又は決算+A+B)	1,929,377	1,884,537	1,703,453	1,796,566

◇政策の指標

政策指標	単位	H36 目標値	年度	H27	H28	H29	H30
外壁・屋根を調査した結果、著しい劣化が認められない建物の割合	%	100	目標	87	95	97	—
			実績	92	95	97	—
吊り天井非構造部材落下防止工事実施割合	%	100	目標	44	44	49	56
			実績	44	44	49	
協働センターのユニバーサルデザイン化整備工事実施割合	%	100	目標	12	24	51	69
			実績	6	36	48	

◇平成29年度の政策評価(政策の概要)

公共建築物の長寿命化やユニバーサルデザイン化を進め、市民が安全・安心して利用しやすい施設整備を行うとともに、適正な建物保全を推進する。また施設用途や目的に応じた適正な整備レベルの確保を図り、市民に親しまれる公共建築物を提供する。

◇平成29年度の政策評価(政策の進捗・課題)

<進捗> 計画通り

- 公共建築物長寿命化推進事業  
外壁仕上診断11施設、空調設備改修工事4施設、外壁改修工事19施設、屋根改修工事39施設を実施。
- 公共建築物耐震化推進事業  
吊り天井等非構造部材落下防止対策工事3施設、設計5施設を実施。  
耐震補強工事2施設を実施。
- 公共建築物のユニバーサルデザイン推進事業  
協働センター5施設について、身障者専用駐車場屋根、多目的トイレ、エレベーター設置等の大規模整備を実施。本庁舎の一部階段に手摺設置の小規模整備を実施。

◇政策実現のために実施する事業一覧

No.	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工			報酬 (千円)
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	
1	公共建築物長寿命化推進事業			○		1,078,696	1,017,076	6.5	3.7		1.0
2	公共建築物耐震化推進事業			○		280,912	272,832	1.0	0.3		
3	公共建築物ユニバーサルデザイン推進事業			○		261,377	250,877	1.3			0.5
4	公共建築運営費(一般諸経費のみ)					175,581	18,781	22.2			0.5
5											
6											
7											
8											
9											
10											
11											
12											
13											
14											
15											
16											
17											
18											
19											
20											
21											
22											
23											
24											
25											
計						#####	1,559,566	31.0	4.0		2.0

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 非常勤2,800

# 事業シート (事業名) 公共建築物長寿命化推進事業

## ◇事業目的・事業対象

建築から一定の年数が経過した公共建築物について、計画的な改修により建築物の長寿命化を進め、長期的な財政負担の軽減を図るとともに、市民に安全で安心な施設を提供するもの。

## ◇事業の概要

### ・長寿命化工事

「浜松市公共建築物長寿命化計画《一般施設》」(平成29年9月作成)に基づき公共建築物の長寿命化を図るため、計画的な改修工事を実施する。

### 《改修内容》

小規模改修 建築物の寿命や機能維持に大きく影響する部位の改修・更新  
 対象部位: 屋根、外壁、受変電設備、空調熱源設備、給水ポンプ

大規模改修 建築後40年経過する建築物を対象に劣化した機能や性能を新築時レベルまで回復させることを目的とした大規模な施設改修

## ◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
H23	-	一般会計	自治事務(その他)		-	-	○

## ◇事業のコスト

		H27	H28	H29	H30
事業費(千円)	予算	1,277,081	1,481,601	1,132,876	1,017,076
	決算	1,014,493	1,422,758	943,807	
	国・県支出	67,041		11,283	
	市債	142,100	616,100	21,500	
	その他		691,305	400,000	691,000
	一般財源 一般会計繰入金	805,352	115,353	511,024	326,076
人件費(報酬等) (千円)					
人件費 (千円)		61,400	59,700	59,700	61,620
人工	正規	7.0	6.5	6.5	6.5
	再任用(h31)	2.0	2.5	2.5	3.7
	再任用(h26)	2.0	2.0	2.0	
	非常勤				1.0

## ◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
外壁及び屋根改修工事(施設)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	76	67	64	55		-
実績値	64	62	58			
空調設備改修工事(施設)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	8	9	4	4		-
実績値	9	9	4			
設備(受変電設備・給水ポンプ)改修工事(施設)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値				2		-
実績値						
大規模改修工事(施設)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値				10(設計)		
実績値						

◇平成29年度の事業評価

・平成29年度の事業の概要

・長寿命化工事[決算943,807千円(うち前年度繰越199,584千円)]  
公共建築物の長寿命化を図るため、構造躯体に影響の大きい外壁や屋根について改修工事を実施する。  
また、機能停止により施設運営に影響を与える老朽化した大型空調設備についても、計画的に改修工事を実施する。

・事業の成果と課題

指標の達成度

計画通り

- ・著しく劣化した外壁や屋根、老朽化した大型空調設備を改修し、建物の長寿命化が図られた。
- ・「浜松市公共建築物長寿命化計画《一般施設》」を作成した。

・事業の見直し

実施結果

大項目 現状 小項目 - / - 事業費 現状 人工 現状

- ・調査結果をもとに事業を見直し実施した。
- ・平成28年度改修実績71施設に対し、平成29年度は62施設を実施した。

今後の方向性

大項目 改善 小項目 収集・分析 / 正規職員 事業費 現状 人工 現状

- ・平成29年度で著しく劣化し優先的に改修する長寿命化工事(外壁、屋根、大型空調設備)は完了した。継続して施設の長寿命化を図る必要から、「浜松市公共建築物長寿命化計画《一般施設》」に基づき改修工事を実施する。

# 事業シート (事業名) 公共建築物耐震化推進事業

## ◇事業目的・事業対象

大規模空間を持つ公共建築物の吊り天井などの非構造部材について、落下防止対策を行うことにより、施設利用者の安全確保を図る。

## ◇事業の概要

・吊り天井等非構造部材落下防止対策  
 大規模空間に吊り天井を有する市有31施設について、災害時に地域の避難所となる施設を優先的に落下防止対策工事を実施する。

## ◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
H27	-	一般会計	自治事務(その他)		-	-	○

## ◇事業のコスト

		H27	H28	H29	H30
事業費(千円)	予算	598,336	25,538	305,061	272,832
	決算	592,350	24,021	298,701	
	国・県支出		9,625	72,493	67,500
	市債			110,400	
	その他	294,439			
	一般財源	297,911	14,396	115,808	205,332
	一般会計繰入金				
人件費(報酬等) (千円)					
人件費 (千円)		9,100	9,840	9,840	8,080
人工	正規	1.3	1.2	1.2	1.0
	再任用(h31)		0.4	0.4	0.3
	再任用(h26)				
	非常勤				

## ◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
吊り天井等非構造部材落下防止対策工事(施設)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	24	7(設計)	3	4		-
実績値	24	7(設計)	3			
避難所指定施設の耐震化(施設)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値			2	-		-
実績値			2			
主な事業活動・事業成果 指標(単位)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						

◇平成29年度の事業評価

・平成29年度の事業の概要

・吊り天井等非構造部材落下防止対策工事[決算298,701千円]  
 災害時に地域の避難所となる3施設について、吊り天井落下防止対策工事を行う。また、5施設について設計を行う。  
 なお、設計を行っていない20施設については、各施設の修繕計画などを踏まえ順次対策を進めていく。

・避難所指定施設の耐震化  
 静岡県基準(ランクⅡ)を満たしていない避難所指定の2施設について、耐震補強工事を実施する。

・事業の成果と課題

指標の達成度

・3施設について吊り天井等非構造部材落下防止対策工事を実施した。また、5施設について設計を完了した。  
 ・2施設について耐震補強工事を実施した。

・事業の見直し

実施結果  
 大項目  小項目  /  事業費  人工

・県補助金を活用し、避難所の対策を優先して設計を実施した。

今後の方向性  
 大項目  小項目  /  事業費  人工

・施設運営との調整を行い、避難所を優先して吊り天井等非構造部材落下防止対策を実施する。また避難所以外の施設についても、各施設の修繕計画などを踏まえ順次対策を進めていく。

# 事業シート (事業名) 公共建築物ユニバーサルデザイン推進事業

## ◇事業目的・事業対象

だれもが利用しやすくなる公共建築物を提供するため、ユニバーサルデザイン等に配慮した設計及び工事監理業務を実施し、公共建築物の適正な整備水準を確保する。

## ◇事業の概要

### ○公共建築物のユニバーサルデザイン化の推進

#### 《対象施設》

- ・協働センター33施設

#### 《整備内容》

- ・身障者専用駐車場屋根、廊下・階段手摺、多目的トイレ、エレベーターの整備等

### ○公共建築物のユニバーサルデザインに関する啓発活動

### ○新增築・改築・大規模改造工事等に係るユニバーサルデザインの導入

- ・施設が計画的に実施する大型工事において、ユニバーサルデザインを積極的に導入する。

## ◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
H20	H36	一般会計	自治事務(その他)		-	-	○

## ◇事業のコスト

		H27	H28	H29	H30
事業費(千円)	予算	141,947	155,599	188,501	250,877
	決算	80,266	191,782	208,933	
	国・県支出				
	市債			174,300	
	その他				
	一般財源	80,266	191,782	34,633	250,877
	一般会計繰入金				
人件費(報酬等) (千円)					
人件費 (千円)		10,500	11,900	11,200	10,500
人工	正規	1.3	1.5	1.4	1.3
	再任用(h31)				
	再任用(h26)				
	非常勤	0.5	0.5	0.5	0.5

## ◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
協働センターユニバーサルデザイン化整備工事(施設数)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	4	6	5	7		-
実績値	2	11	4			
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
公共建築物のユニバーサルデザイン度(点)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	55	56	59	60		
実績値	55	58	59			
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						

◇平成29年度の事業評価

・平成29年度の事業の概要

○公共建築物のユニバーサルデザイン化の推進[決算208,933千円(うち前年度繰越21,423千円)]

《対象施設》

・協働センター33施設

《整備内容》

・身障者専用駐車場屋根、廊下・階段手摺、多目的トイレ、エレベーターの整備等

○公共建築物のユニバーサルデザインに関する啓発活動

○新增築・改築・大規模改造工事等に係るユニバーサルデザインの導入

・施設が計画的に実施する大型工事において、ユニバーサルデザインを積極的に導入する。

・事業の成果と課題

指標の達成度

・身障者専用駐車場屋根やエレベータ設備など、規模の大きな整備を実施する施設数は計画の5施設に対して4施設の実施であった。1施設のみ身体障害者駐車場屋根が未施工となり、来年度以降に設置を予定している。ほぼ計画通りである。

・事業の見直し

実施結果

大項目  小項目  /  事業費  人工

・平成30年度工事物件の設計を平成29年度に実施した。

今後の方向性

大項目  小項目  /  事業費  人工

・平成31年度に予定している物件の設計を前年度(H30)に前倒して実施し、施設運営を踏まえた適正な工期での発注を目指す。

# 事業シート (事業名) 公共建築運営費(一般諸経費のみ)

◇事業目的・事業対象

◇事業の概要

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
					—		

◇事業のコスト

		H27	H28	H29	H30
事業費(千円)	予算	3,546	3,684	3,225	18,781
	決算	3,068	3,176	2,212	
	国・県支出				
	市債				
人件費(報酬等) (千円)	その他				
	一般財源	3,068	3,176	2,212	18,781
	一般会計繰入金				
人工	人件費 (千円)	158,200	161,360	169,060	156,800
人工	正規	22.4	22.8	23.9	22.2
	再任用(h31)		0.1	0.1	
	再任用(h26)				
	非常勤	0.5	0.5	0.5	0.5

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						

◇平成29年度の事業評価

・平成29年度の事業の概要

・事業の成果と課題

指標の達成度

・事業の見直し

実施結果

大項目  小項目  /  事業費  人工

---

今後の方向性

大項目  小項目  /  事業費  人工